



関 中 学 校 だ よ り

第4号 令和7年7月15日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

次の50年に向けて

校長 堤 智一

本校は今年開校50周年という節目にあたります。今までの関中学校が果たしてきた役割を再確認し、今後の教育活動に生かすきっかけとしています。これからも地域とともに公立中学校としての役割を果たすため、「不易」と「流行」という2つの視点で教育活動を実践してまいります。

「不易」な部分は「学校は児童生徒のためにあり、児童生徒の健全な育成を目的として教育活動を行う場である」ということです。これは不易な部分であるとともに、学校教育の最も基本的な部分です。

一方「流行」はどうでしょう。「流行」というと広くはファッションや音楽などで用い、数年で変化するものというイメージがあるかもしれませんが、学校教育における流行はもっと長い期間での話となります。学校のICT化、部活動の地域移行、35人学級の実施などがそれにあたると考えられます。

開校50周年を迎え、今後も関中学校が地域とともに社会的責任を果たしていくため、次の2点を重視していきたいと考えております。

まずは学力向上に取り組んでいきます。学力の捉え方が、思考力、判断力、表現力など今までより広がったことを踏まえ、教員には今まで以上に ICT 機器を活用し、指導と評価の一体化に基づく授業改善を推進していきます。また、生徒の皆さんと御家庭においては家庭学習を充実させていく取組を実施していきます。学力の向上は教員の授業力向上と家庭学習が車の両輪であり、双方がうまく回ることが大事だと考えます。

次に部活動では、中期的な目標として教員の異動に関わらず生徒が入学してから3年間安心して活動できるような体制づくりに向けた検討を始めました。部活動の地域移行についても、この考え方を基に進めてまいります。

関中学校では開校50周年の区切りに合わせ、標準服を新しいものにしました。新しい夏服では昨今の酷暑に対応する形にしました。また、これまでどおりスラックスを選ぶことができます。

これからも関中学校は、「関中学校でよかった」が100%となるよう努力を続けてまいります。

【お知らせ】 学期末に各御家庭にお渡しする通知表において、練馬区では昨年度より1・2学期の所見は記載しないことになりました。関中学校では三者面談においてお伝えいたします。

星に願いを

PTAとPTAのOB会組織である「つばさの会」の方々が、七夕用に笹を準備してくださいました。



避難拠点訓練(7/12)

関中学校では毎年、1学年で避難拠点訓練を実施しています。大規模な災害が起きたときに学校は避難拠点になる場合があります。大規模な災害が起きたとき、地域にとって中学生は、大事な、そして大きな力となる存在です。一人一人の力は大きくはないかもしれませんが。しかし小さな力も結集することで、大きな力となります。また、中学生が活動することで、避難してきた人たちに心の安定をもたらします。生徒は皆訓練に真剣に臨んでいました。



【(硬式)テニス部】 優秀選手賞 村井杏吏

敢闘賞 楠本拓朗 高橋わか 三谷勇斗

【ソフトテニス部】 団体戦においてブロック大会の成績により都大会出場

【水泳】 都大会 男子100m背泳ぎ 第8位／男子200m背泳ぎ 第8位

平野龍之介

(敬称略)